

3

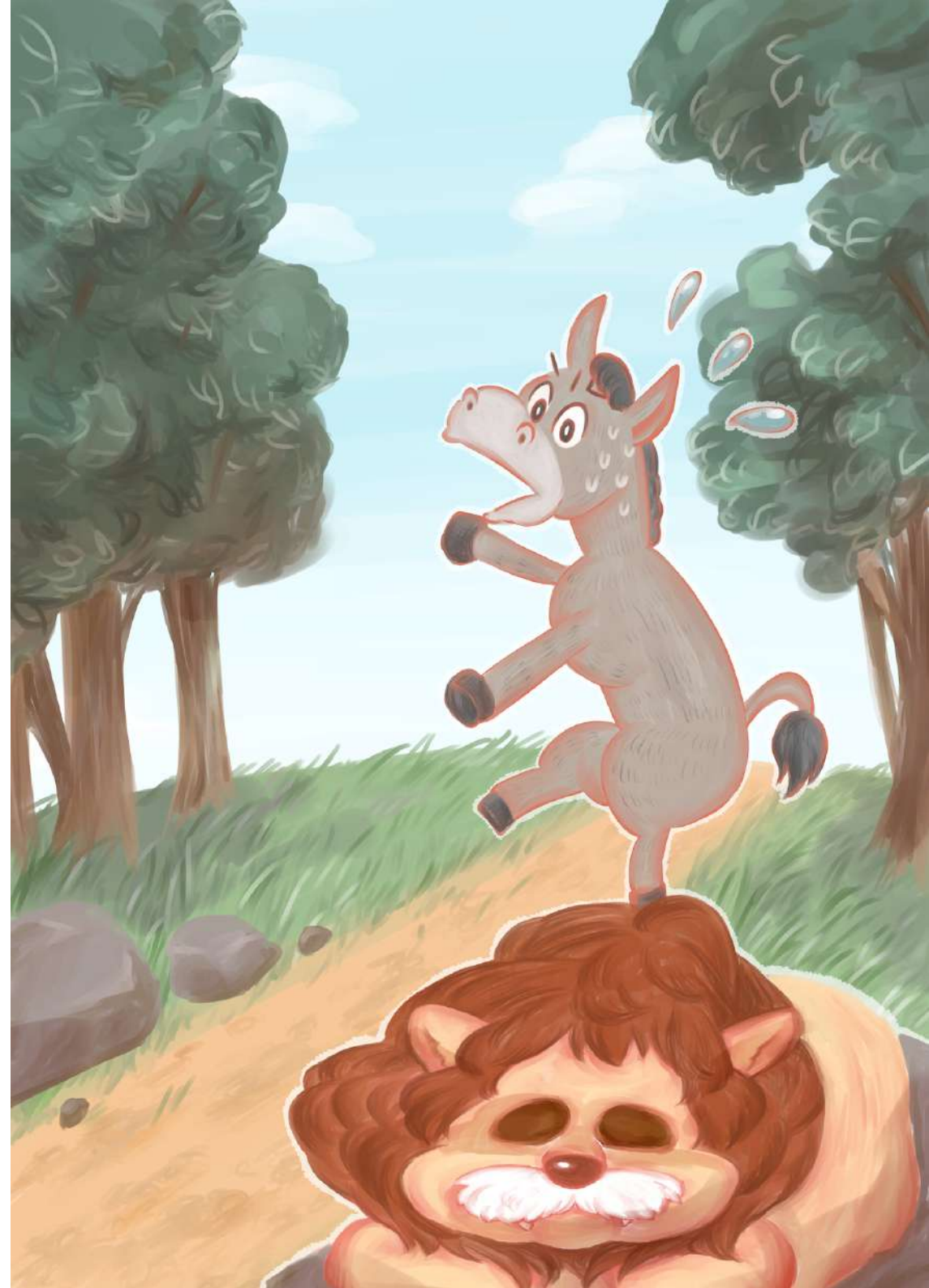
One day, a donkey who was walking through a small path in the forest bumped into a lion sleeping on a rock.

“Eeeeeek!”

The donkey was surprised and tried to run away.

However, strangely, the lion did not move at all although he had heard the donkey scream.

The donkey slowly and cautiously approached the lion.

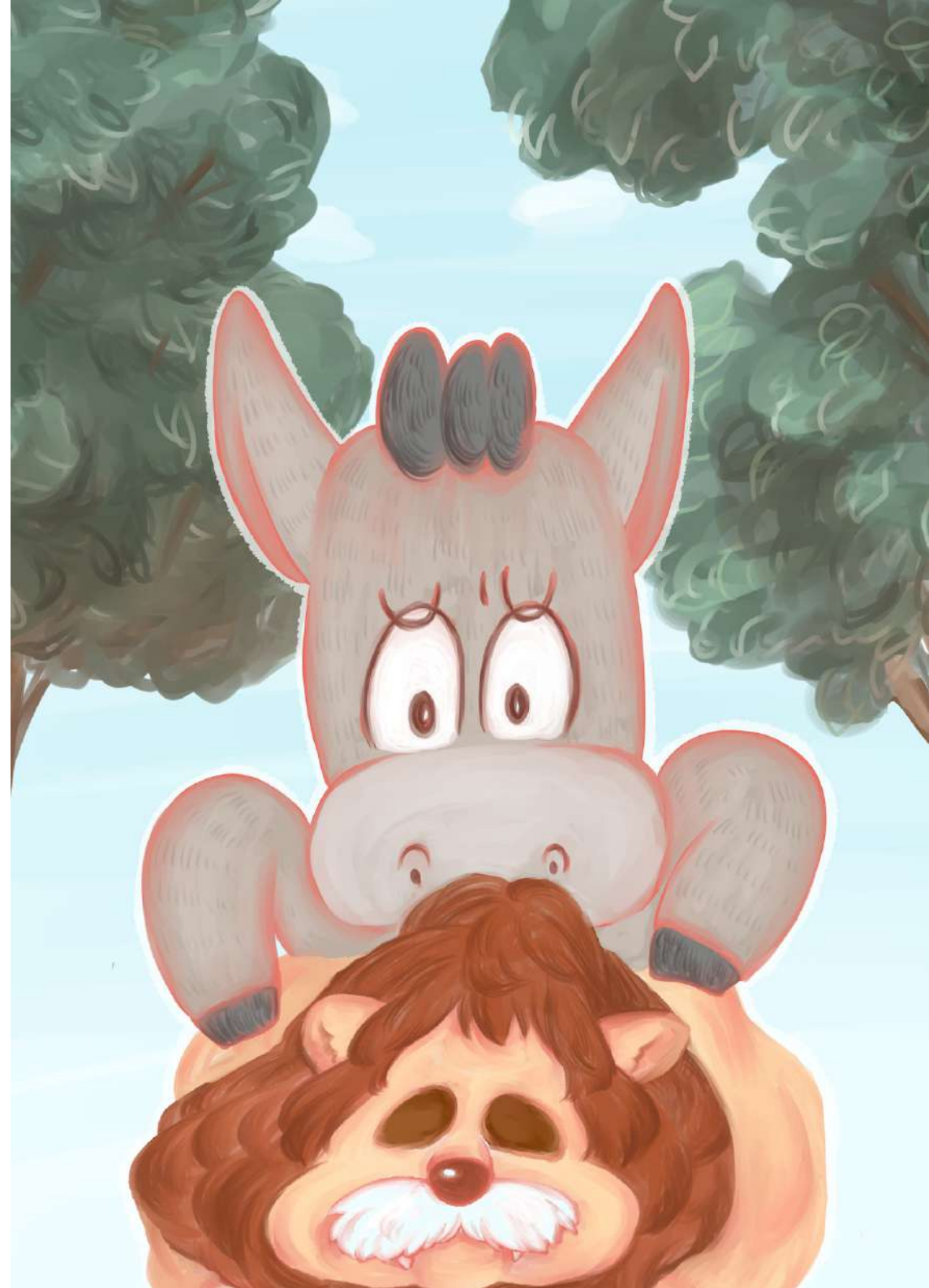


5

As he looked closely, he realized it was the skin of lion.

“What is this, I was so surprised. If it’s just some skin, I am not afraid at all! …Oh, I have an idea! If I wear this and walked around, would everyone think I am a lion?”

The donkey wore the skin of a lion.



あるひの こと。

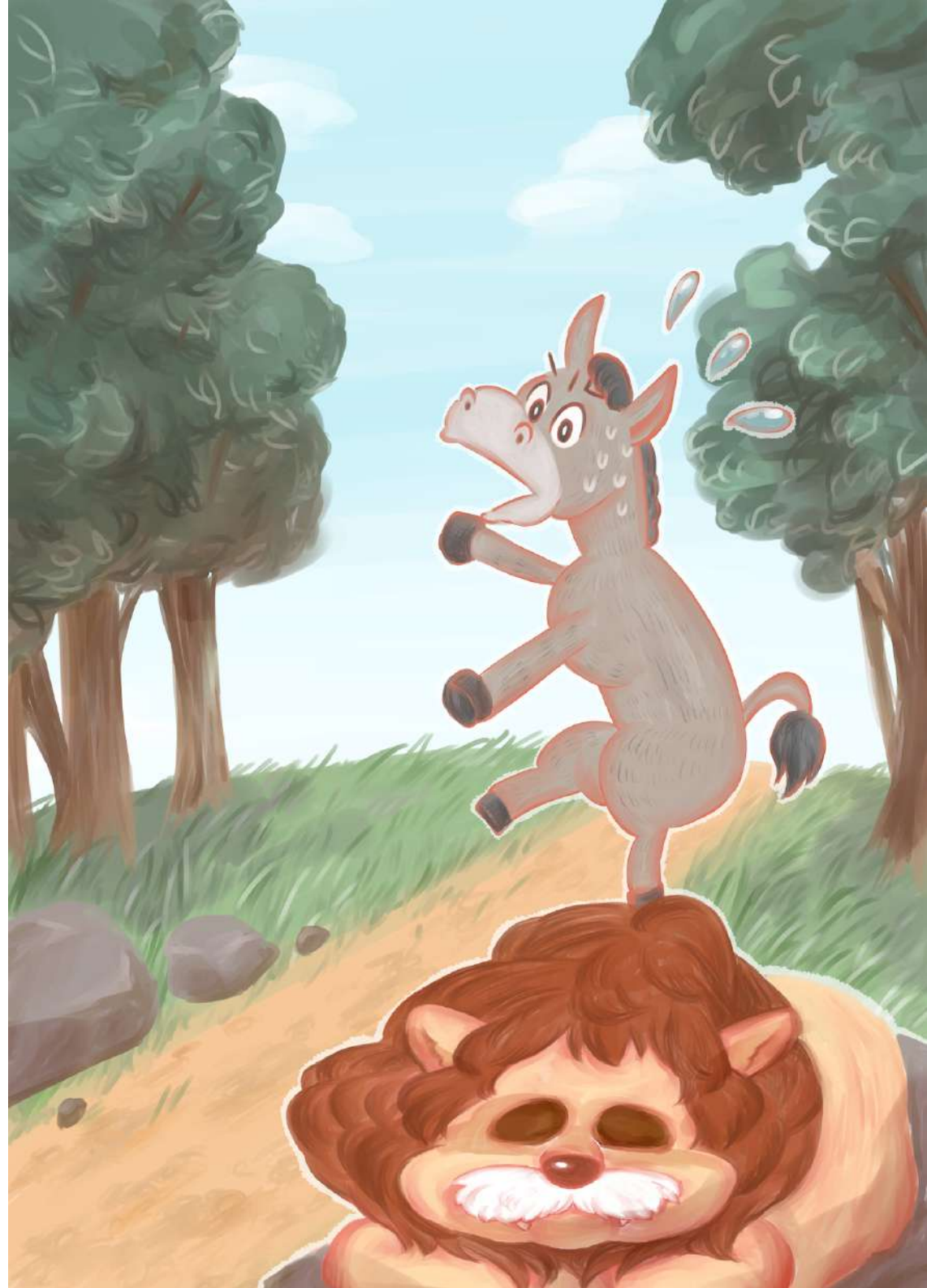
もりの こみちを さんぽしていた ろばは、
いわの うえに ねそべっている、
らいおんに でくわしました。

「うわー！」

ろばは おどろいて とびあがり、
にげだそうとしました。

ところが ふしぎなことに、
らいおんは ろばの ひめいを きいても、
ぴくりとも うごきません。

ろばは おそるおそる、
らいおんに ちかづいていきました。



よくみると、

それは『らいおんの かわ』でした。

「なんだい、おどろかせやがって。

ただの かわだったら、ちっとも こわくないぞ！

・・あ、そうだ！このかわを きて あるいたら

みんな ぼくを らいおんだと

かんちがい するかな？」

ろばは さっそく、

らいおんの かわを きてみました。

